

【商品概要】

商品名：「<sup>みせん</sup>味仙 台湾ラーメン」

メーカー：十勝新津製麺株式会社

価格：298円（税込）

発売日：2007年4月3日（火）

パッケージデザイン

一部店舗では4日（水）からの店頭発売となります。

また、数量限定商品につき、在庫がなくなり次第、終売となります。

販売地区：全国のサークルK / サンクス

（サークルK 3,057店舗、サンクス 3,278店舗、合計6,335店舗 2007年2月末現在）

販売予定数：約28万食（うち、中京地区で約16万食を販売予定）

売り切れ次第、終了となります。

『ぐるなび』プロモーションページ（イメージ・部分）：

2007.3/27 (火) ~ 2007.4/16 (月)

「辛い」だけじゃない！新感覚「うま辛」ラーメン！

名古屋発、あの名店「味仙」の「台湾ラーメン」がカップ麺に！

ぐるなびエディターが一足お先に体験！

台湾ラーメンとは？

鶏ガラベースのスープにひき肉のうま味が抜け出し、そこにたっぷり唐辛子を入れる事でうま味とから味の絶妙なバランスのとれた、名古屋にある中国台湾料理店「味仙」の店主「郭明龍」氏が考案した、新感覚カラウマラーメン！

開発者の思い

「元祖・味仙の台湾ラーメンのカップ麺にする」その時、開発担当者が一番こだわったのは旨味のバランスだ。旨味と辛味の両方を大満足して、ただ辛いだけのラーメンには受け入れられない。そして、そんな時に味仙の台湾ラーメンに出会ったのです。スープだけを飲むと、うまみを覚えるが、でも酸っぱい口に入れたとたん、じわじわと辛味の空気が、このある味は、お肉の旨味とこの旨味、先ずは元祖の味を再現している。酸っぱい、辛味はとろろさせた、気持ちのいい旨味、スープとの相性は抜群だ。

味仙製麺株式会社  
加工食品部 台湾ラーメン課 課長 郭明龍

誕生秘話

今や、名古屋のご当地ラーメンとして名馳る「台湾ラーメン」。その元祖は名古屋市千種区にある台湾料理店「味仙」だ。1975年、30年ほど前、台湾出身の店主・郭明龍さんが有名な料理として、台湾の代表的な麺である「台湾ラーメン」を日本にアレンジして作ったのが、「台湾ラーメン」の始まり。とにかく辛い、でも旨い、これが「台湾ラーメン」の醍醐味。でも、辛いだけでは満足できない、全国の「麺好き」の胃で注目を集めている。